

ワークショップ

昔の「声」を聞いてみよう ～上郷有線放送の三六災害特集から～



7月20日（土） 13：00～16：00

上郷公民館 201講堂（長野県飯田市上郷飯沼3145-1）

講師 安岡 健一 さん（大阪大学大学院人文学研究科 准教授/歴史研究所顧問研究員）

講演「地域メディアがつくる「わたしたち」の歴史」

〈お申込み〉

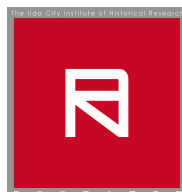
参加方法： ①会場 ②オンライン受講 のどちらか

申込方法： ①②共に、電話・FAX・メールのいずれか

※住所・氏名・電話番号・受講方法をお知らせください。

資料代： 200円（高校生以下無料）

申込締切： ①会場 7月18日（木） ②オンライン 7月5日（金）



飯田市歴史研究所

〒395-0803 長野県飯田市鼎下山538

TEL 0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

Email iihr@city.iida.nagano.jp

共催：JSPS科学研究費助成事業基盤研究（B）「戦後日本の「農村メディア」と地域社会の総合的研究」（代表：安岡健一）

〈講師より〉

私たちが情報を得たり、他の人と意思疎通したりする手段であるメディア。それがどう変わってきたかを知ることは、歴史として興味深いだけでなく、これからの地域を考える上でも重要です。

1950年代の農村部では有線放送が広がりました。有線放送は通話だけでなく、地域の出来事を放送で伝えたり、独自の番組を作るなど多面的な機能を持っていました。今回の企画では三六災害（1961年）の番組を聴き、昔の声に耳を傾けたいと思います。



三六災害当時の様子 野底橋から(右岸 大門町 左岸 上郷町)
飯田市歴史研究所 所蔵

〈当日のスケジュール〉

13:00～13:10 開会

13:10～13:50 【講演】 安岡 健一さん

13:50～14:50 番組を聴く

～昭和36年 年末特別番組 災害特集（三六災害特集）ほか～

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 感想・懇談

飯田市歴史研究所
▼HPはこちらから



飯田市歴史研究所

